

# 【かたな】 刀

【刀兵探索…合戦小史】

カール・フライデー教授

近世では武士は刀を「武士の魂」として崇拜し、また時代劇を見て育った現代の人々は中世の戦いを刀剣による接近戦が主だったと考えがちである。しかし、実際には、近代以前の戦いにおいては、刀は補助的な役割しか果たしてはなかった。この講義では、実証的手法に基づいて、こうした点について論じる。そのうえで、なぜ刀が実戦において小さな役割を果たさなかったかというのかを社会的・文化的・政治的観点から考察する。そして、過去の歴史家が、日本の戦いにおいて刀が支配的な役割を果たさなくなった時点を特定しようとして払い続けた努力についても考える。

【日本史における寺院の兵乱と僧兵】

ミカエル・アドルフソン教授

日本史において弁慶は「僧兵」として知られる寺院勢力における兵士の代表として知られる人物である。僧兵は、中世後期から近世・近代にかけて、さまざまに描かれているが、ほぼ例外なく表頭（かとう）をかぶり、薙刀をもつて表現されている。しかし、僧兵は実際にこのような格好で戦ったのだろうか？ 寺院の武装勢力は、そうしたイメージで理解できるだろうか？ この講義では、僧兵と呼ばれる存在が用いた武器や戦術をめぐるとさまざま問いについて論じる。

第5回  
石橋財団  
レクチャーシリーズ  
The 5th Ishibashi Foundation Lecture Series

# 【ぶし】 武士

戦いから読み解く戦乱の日本史。

武士、刀、薙刀、僧兵など、日本文化には、いくさ（い）にまつわる「ぶ」のものが数多くみうけられます。

また日本史の転機となる、重大な局面にはいつも戦乱がありました。

【べんけい】  
弁慶

# 弁慶

Blades,  
Bushu and  
Benkei: Weapons and  
Warfare in Premodern Japan

参加無料

定員300名先着順  
（予約不要）

2018  
12/9 Sun.



【講演者】  
ミカエル・アドルフソン教授  
ケンブリッジ大学日本学「経団連」教授  
「日本史における寺院の兵乱と僧兵」  
●同時通訳付き



【講演者】  
カール・フライデー教授  
埼玉大学 人文社会科学研究所 教授  
「刀兵探索：合戦小史」  
●同時通訳付き



【モデレーター】  
内川隆志 教授  
國學院大学 研究開発推進機構 教授

2018.12/9.Sun. | 13:00~16:00 (Open 12:30) | at Kokugakuin Univ. (Tokiwamatsu Hall)

日時=平成30年12月9日(日)13:00~16:00(開場12:30) | 会場=國學院大学 常磐松ホール 東京都渋谷区東四丁目10番26号 [https://www.kokugakuin.ac.jp/about/information/campus\\_shibuya](https://www.kokugakuin.ac.jp/about/information/campus_shibuya)  
主催=イーストアングリア大学 セインズベリー日本藝術研究所(英国ノリッチ所在) | 協力=國學院大学 研究開発推進機構 | 後援=公益財団法人 石橋財団